

## 平成 21 年度第 2 回新潟空港アクセス改善検討委員会を 開催しました

新潟県は、関係機関等の協力により、新潟空港のアクセス改善について、平成 18 年 12 月の「新潟空港アクセス改善検討委員会」の提言を受け、事業効果の検証や情勢の変化を踏まえた継続的な見直しを行いながら、超短期、短期、中・長期と段階的取組により進めています。

有識者による「新潟空港アクセス改善検討委員会」の本年度第 2 回の委員会を、下記のとおり開催しました。会議の概要は以下のとおりです。

### 記

#### 1. 日時・場所

平成21年11月9日(月)14:00～16:00

新潟県自治会館 本館 201 会議室 新潟市中央区新光町4-1

#### 2. 委員の構成等 添付のとおり

#### 3. 主な議論・発言等

##### (1) 短期的取組について（新潟駅南口空港バスの運行について）

4 月 1 日から運行を開始した新潟駅南口空港リムジンバスの利用状況及び満足度調査結果について、事務局から説明を行い、意見交換を行った。

##### 事務局説明

- ・ 利用者数については、順調に推移している。
- ・ サービスへの満足度は概ね良好であるが、「案内表示」、「手荷物の取り扱い」、「入線時間」など改善を要するものもあるので、引き続き利用者意見を踏まえ改善を重ねる。
- ・ 継続的な調査・検証を行い、一層の利便性の向上と、利用者増加につながるよう努める。

<主な満足度調査項目> 平成 21 年 8 月 21 日(金)～22 日(土)に実施

- ① バス停までの案内表示のわかりやすさ
- ② バスの運行頻度(運行便数)
- ③ バスの待ち時間
- ④ バス車両の快適さ
- ⑤ バス停環境の快適さ
- ⑥ 手荷物の扱いやすさ
- ⑦ バスの運賃

### 主な委員意見

#### ○ 利用者満足度調査結果について

- ・ バスの入線は5分前入線とのことだが、利用者のことを考慮しもう少し早くすることができないか。バス事業者との調整をお願いする。
- ・ 現在は手荷物の積み下ろしにサービスを行っていないが、他の空港と比較してサービスの改善を検討願いたい。
- ・ 新潟駅での案内表示がわかりにくいという意見については、利用者の目線に立ちもう一度確認すること。
- ・ 季節により意見の違いがあると思うので、冬にも満足度調査を行って欲しい。

#### (2) 中・長期的取組について

仙台空港など軌道系アクセスを導入した先行事例の研究として、在来線の延伸では仙台空港アクセス鉄道を、新幹線ではガーラ湯沢と博多南駅の事例について、事務局から説明を行い、意見交換を行った。

#### 事務局説明

- ・ 仙台空港アクセス鉄道は、平成19年3月の開業以来の利用者数が需要予測の約7割にとどまっており、平成21年8月に「仙台空港鉄道株式会社改革支援プラン」が宮城県より発表された。
- ・ 利用者数の伸び悩みに伴い、建設費の借入金償還について対応策が必要となっている。
- ・ 現況を考慮すると、開業後30年以内での累積損失の解消は困難。
- ・ ガーラ湯沢と博多南線は、新幹線車両を在来線扱いで運行している全国でも2箇所しかない事例。

### 主な委員意見

- ・ 甘い見通しでの計画とならないよう議論が必要ある。
- ・ 仙台の事例では沿線開発も見込んで鉄道を建設した。新潟でも空港だけではなく、交流人口の増加やまちづくりを踏まえて考えるべきではないか。
- ・ 新潟空港の利用度を高め、国際見本市の誘致など新潟に人が集まる仕掛けづくりが大切ではないか。
- ・ 博多南線は車両基地へ回送列車を利用したものだが、新潟では大形の新幹線車両基地は途中であり、そこから新潟空港まで延伸する部分が、大きな課題となると思う。

本件についての問い合わせ先 交通政策局 港湾振興課 企画班 (内線)3458 (直通)025-280-5456 担当： 中川、鈴木、覚張
---